

# 海陽だより

荒尾海陽中学校  
第 17 号 (R8.2.25)

「挑戦！さらに一步前進」  
文責：校長 右田尚久



今年の立春は2月4日でした。立春は「暦上の春の訪れ」と言われませんが、立春から2週間はとても寒い日々が続きました。しかし、この3連休はとても暖かく、いよいよ春が来たかと空を眺めたのは私だけではないと思います。この暖かさで、職員室から見える梅の花も咲きほころんでいます。そこで、3年生が登校するのもあと9日となりました。卒業式の練習も始まっています。

## 四山神社春季大祭に



校区のもっとも大きなお祭りとして四山神社春季大祭（こくんぞさん）があり、毎年、春季大祭が2月13日と秋季大祭が9月13日に行われます。先日の13日に足を運んだ人も多かったのではないのでしょうか。四山神社は、商売繁盛と縁結びの神様として知られており、参拝者が福銭の5円玉を借りて、次の大祭で倍額以上を添えて返す風習があります。また、四山神社では昭和40年から舞の奉納が続けられており、地元小中学生が浦安の舞や豊栄の舞が奉納されます。本校からも6名の生徒が巫女さんとして素晴らしい舞を見せてくれました。素晴らしい良き伝統を今後も引き継いでもらいたいと思います。



2月4日（水）から2月10日（火）にかけて1年生の3クラスでインフルエンザが流行し、学級閉鎖をしました。前週まではほとんどいなかった罹患者も2日間で一気に増え、多いクラスでは、半数の生徒がいない状況もありました。12日以降はほとんどの生徒が戻ってきましたが、爆発的な流行りは、本年度の特徴のようです。本校は産業医の先生を招いて毎月衛生推進委員会を開くのですが、やはり「手洗い、うがい、換気」で予防するしかないと言われました。コロナが数年流行って全国的に予防をしていたせいで、インフルエンザが流行せず、身体から免疫がなくなって本年度は大流行しているのかなと勝手な素人の考察をしています。少しインフルエンザも下火になっていますが、学年のラストスパートを学級みんなのできるよう体調管理を各々でいきましょう。

## 授業参観／学級懇談会



本年度最後の授業参観および学級懇談会を実施いたしました。年度末のお忙しい中、多くの保護者の皆様にご来校いただきましたこと、心より感謝申し上げます。教室での子どもたちの様子を直接ご覧いただけたことは、学校にとっても大変意義深い機会となりました。



各学年では、それぞれのテーマで学習を行いました。1年生は「性教育」を行いました。自分の体や心を大切にすること、相手を思いやることの大切さについて学びました。少し緊張した様子も見られましたが、子どもたちは真剣な表情で話を聞き、自分なりに考える姿が印象的でした。



2年生は「立志式」を行いました。これまでの自分を振り返り、これからの目標や決意について考える大切な時間となりました。一人一人が自分の言葉で将来への思いを表現し、成長を感じさせる姿が見られました。節目となる行事を、保護者の皆様に見守っていただけたことは、子どもたちにとって大きな励みになったことと思います。



3年生は「SNSの正しい使い方」について学習しました。便利さの裏にある危険性や、責任ある行動の大切さについて具体的な事例をもとに考えました。卒業を間近に控え、社会へと一歩踏み出す3年生にとって、非常に重要な学びとなりました。



授業参観後の学級懇談会では、担任より一年間の子どもたちの成長の様子や学級経営への思い、そして今後に向けた話をさせていただきました。各担任から「多くの保護者の皆様より温かい感謝のお言葉をいただいた」と報告を受けております。保護者の皆様のご理解とご協力に、改めて深く感謝申し上げます。皆様からのお言葉は、教職員にとって何よりの励みとなりました。

本年度も残すところわずかとなりました。子どもたちが一年間の学びをしっかりと締めくくり、次の学年へ自信をもって進めるよう、教職員一同力を合わせてまいります。

引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。